

アセスメントシート 社会生活編 マニュアル

目次

(関係機関用)

日常生活の状況	1
遊び・運動・感覚・興味・関心	6
コミュニケーションの状況	7
集団生活・社会参加	9
理解や支援を必要とする行動	11
安全・事故防止の留意点	12
家庭との連携	12

本人の名前 _____

所属機関 _____

記入者名 _____

記入年月日 年 月 日

本人の年齢 歳



日常生活の状況



生活のリズム(日常) 		生活のリズム(休日) 	
1時	朝起きてから夜寝るまでのおおよその時間を書きましょう。		1時
2時			2時
3時			3時
4時			4時
5時			5時
6時	起床・洗面	起床・洗面	6時
7時	朝食	朝食	7時
8時	出勤		8時
9時	↑ 勤務 ↓	↑ ゲーム ↓	9時
10時			10時
11時			11時
12時	昼食	昼食	12時
13時	↑ 勤務 ↓		13時
14時			14時
15時			15時
16時	帰宅	散歩	16時
17時		買い物	17時
18時	お風呂	お風呂	18時
19時	夕食	夕食	19時
20時	テレビ	テレビ	20時
21時	就寝	就寝	21時
22時			22時
23時			23時
24時			24時

その他の予定や行事

週間

月間

年間

睡眠の状況 (寝つき・目覚め・寝るときの癖など)



- ◆就寝時間(21 時 00 分ころ) 起床時間(6 時 00 分ころ) 睡眠時間(9 時間)
- ◆寝つき いいほう ふつう 悪いほう
- ◆寝具へのこだわり ほとんどない 少しある こだわりがとてもある
- ◆目覚め いいほう ふつう 悪いほう
- ◆起こすときに配慮してほしいこと なし あり
- ◆昼寝 しない する(だいたい 時～ 時ころ)
- ◆寝るときの癖 なし あり(本欄) あてはまるものの口にはしていきます。何か特記事項があれば、空いているスペースに書きます。 その他()
- ◆その他、気をつけること 夜起きる ()

食事

- ◆食事の形態 流動食 きざみ食 一口大 普通食 その他()
- ◆自分で使える道具
 - 食べ物 手づかみ スプーン フォーク おはし その他()
 - 飲み物 ほ乳瓶 コップ ストロー その他()
- ◆介助 全面介助(食べさせる) 少し手伝う 自分で食べる その他()

鼻注や経管栄養などの場合はここに書きます。

様子:

食べているときの様子で気になることや介助する内容を書いてください。

◆好きな食べ物

◆嫌いな食べ物

めん類
ハンバーグ

にんじんなどの野菜が嫌い。

◆家では食べられるが場所や場面が変わると食べられないもの(食材、メニューなど)

あれば具体的にお書きください。

◆食べてはいけないもの(食物アレルギーの有無・食材など)

そば、カニ

アレルギーや医師から禁止されているもので、絶対に食べてはいけないものを書きます。

◆外食で選びやすいメニュー(よく選ぶもの)

ラーメンが好きで、暑い日でも汗をかきながら食べる。

◆メニューの選び方 特に配慮必要なし 配慮が必要

食物アレルギーに配慮したメニュー

◆入りやすい店 特になし あり

座席数の多い店より、小じんまりとした静かな店を好む。

苦手なお店の雰囲気があって、お店の選択に配慮が必要であれば書いておきます。

排泄

◆排尿

通常 おむつ 和式 洋式
その他()

外出先 おむつ 和式 洋式
その他()

予告 自分で予告する 誘ってほしい
誘い方()

リズム(2～3時間ごと)

介助 一人でできる 見守りが必要
手伝ってほしい 全面介助

◆排便

通常 おむつ 和式 洋式
その他()

外出先 おむつ 和式 洋式
その他()

予告 自分で予告する 誘ってほしい
誘い方()

リズム(毎朝)

介助 一人でできる 見守りが必要
手伝ってほしい 全面介助

様子: 就労先のトイレは使用できます。公共のトイレは苦手で、我慢することがあります。

衣服の着脱

- ◆着 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子:

- ◆脱 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子:

- ◆衣服の選択 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子:

- ◆衣服の調節 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子: 寒いときでも上着を着ないことがある。

- ◆その他、気になること(衣服のこだわりなど)

衣服などや着脱時の順番などで気にしていることを書きます。

洗面・歯磨き

- ◆洗面・歯磨き

洗面 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

歯磨き 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子:

- ◆入浴 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

様子: しっかりと洗えていない所もあるので支援が必要。

苦手なこと 特になし 顔洗い スポンジ、タオルなどでこすられること

洗髪 お湯につかること シャワー 銭湯などの場所

その他(

その他、気になること

あれば具体的にお書きください。

- ◆爪切り 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

わかる範囲で書きます。

- ◆生理の手当て 開始時期: _____ 周期・日数: _____

生理痛 あり なし 量 多い 普通 少ない

生理用品のこだわり なし あり(

- ◆生理のとき 一人でできる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助

余白に支援してほしい
内容を書きます。

移動(手段)

様子をお書きください。

- ◆室内:

- ◆戸外:

- ◆買い物先: 興味のあるものを見つけると、つい立ち止まることが多いです。

- ◆移動の様子(初めての場所に行くとき、道路を歩くときなどの様子や注意事項)

初めての場所では不安になります。縁石の上を歩くことがあります。

- ◆交通機関の利用(交通機関を利用するときの留意点など)

通勤・通所時の手助けや見守りの方法、交通機関を利用するときの留意点を書きます。

- ◆通勤・通所 方法 徒歩 自転車 自家用車・バイク 公共交通機関
福祉サービス その他(

条件 特になし 送迎が必要 付き添いが必要

- ◆通勤・通所時に気をつけること

電車の予定時間が急に変わると、どうすればよいかわからなくなることがあります。

遊び・運動・感覚・興味・関心



遊び・運動

様子をお書きください。

◆好きなこと・趣味

〔 本を読んだり、絵を描くことが好き。 〕

◆苦手なこと

〔 体を動かすことは苦手。 〕

◆配慮することや気になること

見通しが持てないととても不安になるので、活動内容はあらかじめ教える必要がある。

感覚

感覚は本人にしか、快・不快がわからないものです。過剰に反応したり、逆に鈍感だったりするような感覚はないか、書いてみましょう。

◆好きな感覚・落ち着く感覚

音： 感触： べたべたした感触 におい： 甘い香り 触られること：

その他：

◆苦手な感覚・苦手なもの・苦手な場所

音： 犬の鳴き声で不安定になる。 感触： におい： 触られること：

怖がる場所： 高いところ。

落ちつかない場所： 人が多いところ。

その他：

興味・関心

◆興味・関心のあること

パソコンを使って動画を見ること。
新しいゲームソフトを買って、テレビゲームをすること。

◆休日の過ごし方について

家事の手伝いや買い物、散歩、ゲームなどをします。

遊び・運動・感覚・興味・関心についての支援状況と今後の課題

支援状況や課題について書きます。
できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな社会生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにします。



コミュニケーションの状況



表現の仕方 (意思表示の状況 意志表示の手段、本人の意思をどの程度伝えられるか)

※複数チェック可

◆表現の様子

本人から他者へのコミュニケーション。

コミュニケーションは、本人の意思を確認したり、状況を伝えたりなど安心して生活するために必要なものです。できるだけ具体的に書きましょう。

- 発語なし 要求は言える 二～三語
会話ができる その他

様子: 自信が持てないのか、小さい声で話す。

◆ほしいものがあるとき

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子: 個別に聞かれると、応えることができます。

◆何かやってほしいとき

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子: 個別に聞かれると、応えることができます。

◆カードなど使っているもの なし あり

◆カードの内容や使い方

様子:

◆困ったときに援助を求める

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

様子: 自分の思いを伝えることができる。

◆その他、配慮することや気になること



理解の仕方(他者からの意思伝達の理解と状況)

他者から本人へのコミュニケーション。

◆伝わりやすい方法

絵カード 写真 ジェスチャー 文字 具体物など その他

様子・やり方： 平仮名は読める。簡単な漢字でもふりがなが必要。

◆わかりやすい声のかけ方(配慮事項)

はっきりと目を見て話すと、聞く姿勢になりやすい。

◆その他、配慮することや気になること

話の中に用件をたくさん入れると混乱してしまう。

人とのかかわり

◆好きな人のタイプ： 小さな子ども

◆苦手な人のタイプ： 髪色が派手な人は苦手。

◆人の多さ、騒がしさについて

職場・通所施設の人数

配慮事項

特に問題なし

配慮が必要

多くの人と作業すると不安で落ちつかなくなる。
大きな部屋ではなく、小部屋なら落ち着いて作業ができる。

◆支援者の人数ややりとりの仕方など配慮すること

アドバイスをする時は、複数の人から言われると混乱するので、決まった人から言う。

◆年齢相応の社会のルールについて

ほぼ理解している

理解できていないことも多く配慮が必要

◆配慮事項

時間を守れないことが多いので、予定の時刻が来たら周囲の人からも声をかける必要がある。

コミュニケーションについての支援の状況と今後の課題

支援状況や課題について書きます。
できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな
社会生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにします。

短い言葉で、してほしいことをシンプルに話してもらえると理解しやすい。



集団生活・社会参加



チェックします。(集団生活 あり なし)

集団への参加

- ◆ 同年代(友だち)とのかかわり なし あり
- ◆ 職場の人とのかかわり なし あり
- ◆ 地域の人とのかかわり なし あり
- ◆ 集団生活の状況やそれに対する本人の思い

大きな声では話せず、返事もすぐにはできません。
ゆっくり、じっくりと対応する必要がある。

自己選択、決定

- ◆ 2つまたは複数のものからの選択 できる できない
仕方: _____
- ◆ 日課やスケジュールにしたがっての行動 できる できない
仕方: _____
- ◆ 状況や状態、興味に応じた自分での行動 できる できない
仕方: _____

集団生活・社会参加についての支援状況と今後の課題

支援状況や課題について書きます。できないことや問題とされる行動のみに焦点をあてるのではなく、豊かな社会生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにします。

日課を予定表に書いて行動しますが、時間を守れないことも多く、予定どおりに時間を過ごせるように声かけが必要です。



仕事・作業

- ◆ 現在の仕事・作業
錠前などの組み立て。
- ◆ 過去に経験した仕事・作業
チラシ入れ、箱詰め作業。
- ◆ 得意な仕事・作業
組み立て作業。
- ◆ 苦手な仕事・作業
農作業、大人数での仕事。
- ◆ その他、仕事や作業をする上で配慮が必要なこと
1時間ごとに水分補給をする。さわがしい部屋では落ちつかない。



社会性および社会生活に必要な技能

◆お金の価値の理解

わかる 手助けが要る (硬貨、紙幣を見て価値がわかる。)

◆買い物

できる 手助けが要る (買いたい物の金額を支払うことはできますが、おつりの計算がうまくできません。)

◆公共交通機関の利用

できる 手助けが要る (時刻表や行き先がわかります。)

◆時計の利用

できる 手助けが要る (何時何分と正しく時刻を読むことができます。)

◆カレンダーの利用

できる 手助けが要る (1週間単位で予定がわかります。昨日、今日、明日がわかります。)

◆自分の住所・氏名・電話番号についての理解と聞かれたときの答え方

できる 手助けが要る (聞かれたら、正しく応えることができます。)

◆家事手伝い

できる 手助けが要る (指示されたことは一応できますが、正確さに欠けることがあります。)

◆携帯電話の活用

できる 手助けが要る (家だけの通話として利用しています。)

◆電話の利用

できる 手助けが要る (家だけの通話として利用しています。)

◆スケジュール管理

できる 手助けが要る (1週間程度であればわかります。)

◆基本的な挨拶

できる 手助けが要る (日常的な挨拶はできます。)

理解や支援を必要とする行動



チェックします。 (あり なし)

- ①自傷 ②他傷 ③こだわり ④器物破損 ⑤睡眠の乱れ ⑥多動 ⑦不注意
 ⑧パニック・精神的不安定 ⑨感覚の過敏さ・鈍感さ ⑩かん黙 ⑪ひとりごと ⑫常同行動 ⑬その他

番号と具体的内容	きっかけや対処法、その他注意する点など
<p>該当する番号と内容を書きます。</p>	<p>支援がうまくいっている場合も、いない場合も、何か行っていれば書きましょう。</p>
<p>⑧パニック ④器物破損 自分の思い通りにならないとパニックを起こします。 パニックになると、自分のもの以外のものを壊そうとします。</p>	<p>パニックになったときは、視覚にいろいろなものが入らないよう、日ごろから整理整頓を心がけています。 落ち着ける場所もあらかじめ決めていて、イライラするとそこへ行きます。 しかしパニックは1週間に1回程度はあります。</p>
<p>⑨感覚の過敏さ・鈍感さ</p>	<p>社会生活編(関係機関)P6を参照。</p>
<p>⑬その他 ときどき、不安が強く、作業に参加できないときがあります。</p>	<p>できないかもしれない、また注意されるかもしれないと思うようになったのか、本人から避けるようになっている。 そのようなときは職場で体制を組んで1対1で対応し、できるだけ成功体験として経験できるようにしている。 近々、専門機関に相談する予定。</p>
<p>該当する行動などはなくても、気になることがあれば、「⑬その他」として書いておきます。</p>	<p>相談しているところがあり、取り組んでいることがあれば、書いておきましょう。</p>

安全・事故防止の留意点



◆緊急時に配慮すること なし あり

内容

てんかん発作がある。重症の場合は救急車を呼んでほしい。

緊急時の対応で気をつけること、
お願いしたいことを書きましょう。

◆個別的に配慮すること なし あり

内容

ふら～と部屋を出てしまうことがあるので、気をつけて見てほしい。

日常で個別の配慮が必要な
事項を書きましょう。

家庭との連携

内容 **保護者との連絡の方法や、懇談など、保護者との連携内容を書きます。**

毎日の作業内容を連絡ノートに記入して家族にも知らせている。
体調面で気になる点があれば、その都度電話で家族と連絡を取っている。

